

SATOSHOJI

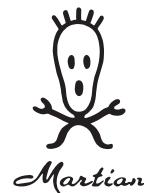
株主通信

第99期 報告書

2021年4月1日 ~ 2022年3月31日

佐藤商事株式会社

証券コード：8065



To Our Shareholders

株主の皆様へ



代表取締役会長
村田和夫

代表取締役社長
野澤哲夫

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第99期の業績及び当社グループの取り組みにつきましてご報告申し上げます。

当社グループの連結業績の概況は、財務ハイライトに記載のとおりであります。売上高2,361億6千2百万円、経常利益62億6千3百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は40億1千6百万円となりました。

当社は、利益配当金に関しましては、今後の収益見通しなどを考慮し、継続的に利益確保を図るとともに、継続的な安定配当として連結配当性向は30%以上、かつ下限は1株あたり年間35円を方針としております。

当期の期末配当は上記の基本方針の下、当社グループを取り巻く経済環境、当連結会計年度の業績などを総合的に勘案し1株につき34円とさせていただきました。これにより、中間配当24円とあわせて年間配当は1株につき58円となります。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、第二次中期経営計画最終年度の第100期につきましては、連結みなし当期利益*の30%以上、かつ下限は1株あたり年間48円を方針といたします。資産の入替等による特別損益の影響は加味しない「連結みなし当期利益」を重視しながら、本業の業績に連動した配当をおこなう方針に変更することといたしました。引き続き安定配当を重視する目的で、配当の下限も増額いたします。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

*連結みなし当期利益：連結経常利益×(1-実効税率)

Consolidated Financial Highlights

連結決算ハイライト

業績の概況及び今後の展望

▶ 2022年3月期業績のポイント

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響で経済活動の制約が続いている中、ワクチン接種の普及等により経済活動の再開が進み、製造業を中心に景気の回復も見られました。一方で、材料市況は経済活動の再開に伴い、材料供給が逼迫した影響等で材料価格の上昇が続いております。

このような状況下におきまして、当社グループは、引き続き第二次中期経営計画で掲げた経営目標の進捗状況を管理しながら各重点課題に取り組んでおり、通期の連結業績は、売上高は2,361億6千2百万円(前年同期比 一%)、営業利益は57億3千4百万円(前年同期比105.1%増)、経常利益は62億6千3百万円(前年同期比87.0%増)となりました。当社が保有していた持分法適用会社であったネポン株式会社の株式を一部売却し、投資有価証券売却損(294百万円)を計上しましたが、親会社株主に帰属する当

期純利益は40億1千6百万円(前年同期比 44.2%増)となりました。なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、当連結会計年度の売上高は118億4百万円減少しております。

▶ 2023年3月期業績の展望

当社グループは、国内事業所と海外関係会社がさらなる連携を図ることにより、お取引先様へのサービスの質を高め、国内及び海外に販路のグローバル展開を推進してまいります。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染者数が減少しているものの感染再拡大の懸念があること、世界情勢や原材料及びエネルギー価格の高騰、部品調達難等の影響によるサプライチェーンの混乱も予想されており、依然として不透明な状況が続いております。このような状況下におきまして、当社グループは、第二次中期経営計画「Challenge & Sustainable growth 20-22」で

第99期 財務ハイライト(連結)

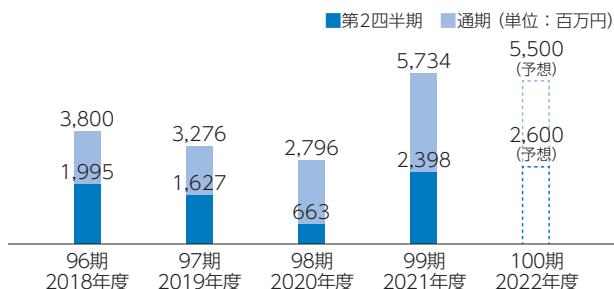
売上高

236,162百万円(前年同期比 一)



営業利益

5,734百万円(前年同期比 105.1%)



(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しておりますので、2022年3月期に係る売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。よって、売上高の対前年同期増減率は記載しておりません。

Consolidated Financial Highlights

連結決算ハイライト

掲げた方針に基づき、国内及び海外の関係会社が連携を図ると共に、引き続き業務の効率化による経費の削減を推進しながら、経営目標の達成に向けて取り組んでまいります。次期の通期連結業績予想につきましては、売上高2,650億円、営業利益55億円、経常利益59億円、親会社株主に帰属する当期純利益42億円を見込んでおります。

▶ 事業投資・設備投資

国内及び海外拠点の整備や全般的な拡大投資を推進しております。グループ発展への投資として、第99期は、国内において阪神特殊鋼を子会社化、海外ではインドで合併会社を設立いたしました。

設備投資につきましては、将来に向けた工場設備の整備と商社としてふさわしい職場環境の整備の2つの観点から進めております。第99期は、切断機械等の購入、基幹システムの改修、事務所什器の入替等で4億1千6百万円の設備投資を行いました。

事業の拡大と効率化を目的とした設備投資を継続する

ことにより、将来とも業績向上を維持し、株主の皆様への還元を図ってまいります。

経営方針

▶ 会社経営の基本方針

当社は、「流通・サービスを通じて広く社会に貢献する」ことを基本方針としております。

▶ 社内の管理体制

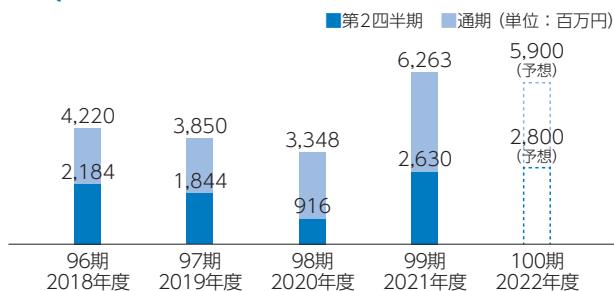
当社はあらゆる企業活動において法令を遵守し、内部管理体制を一層強化して透明性の高い経営体制を構築してまいります。

- 多額の取引、国内外の新会社の設立、既存会社への投資については「与信投資委員会」で多角的な視点から審査を実施しております。
- 加工不良などによる大きな損失の発生を抑制するため、加工品推進室を設けております。また、あらかじめ指定した特定取引については、受注時から一定の条件で制限することでリスク軽減を図っております。

第99期 財務ハイライト(連結)

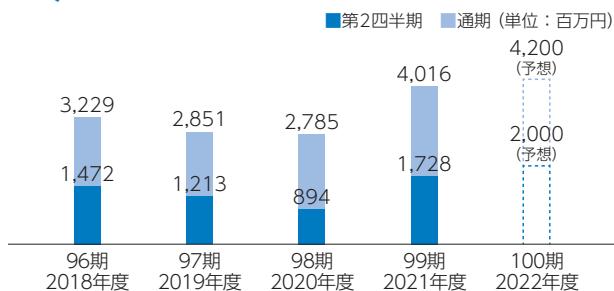
経常利益

6,263百万円(前年同期比 87.0% \square)



親会社株主に帰属する当期純利益

4,016百万円(前年同期比 44.2% \square)



- コンプライアンス体制強化に向けた取り組みの一環として「コンプライアンス委員会」を設置し、コンプライアンス経営実現のため議論を重ねています。
- 入社式、社内研修、社内報などあらゆる機会を通じて、法令遵守の徹底、管理の大切さを説いています。
- 必要な情報が確実に報告、連絡、相談される風通しの良い会社作りを目指しています。

▶ 当社が目指している会社像

当社は92年の歴史と伝統を大切にしながら、常にチャレンジ精神と自負心をもって、変化、革新をし続ける会社です。

今後も株主様をはじめ、お取引先様、地域の皆様、OB・OGの皆様、社員ほかすべての関係者を大切にし、「人を活かす企業」を目指しながら、さらに経営基盤の強い、よい会社にし「企業価値の向上」を図ります。

▶ 中長期的な会社の経営戦略

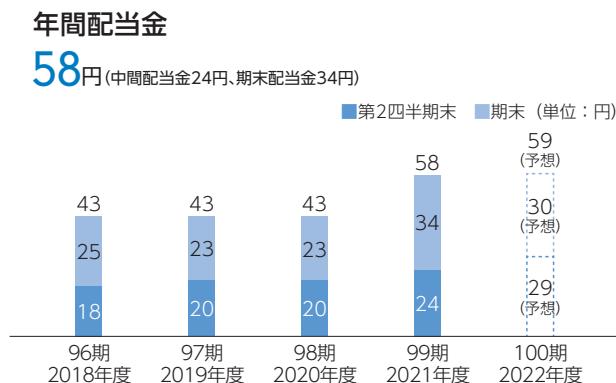
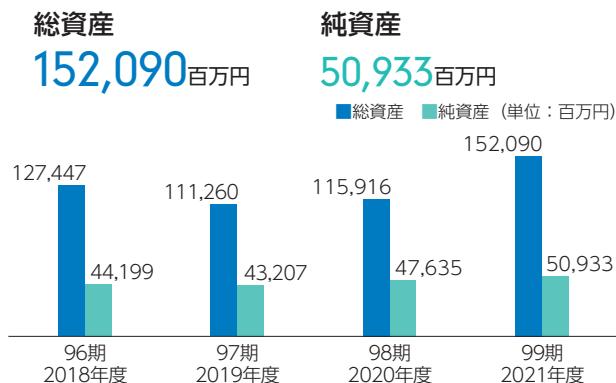
当社は変化を見据えた挑戦を推進し、安定した収益基盤を強化するべく、「Challenge & Sustainable growth 20-22」をビジョンとして掲げております。また、「横断的な販売活動の

促進と新商材の発掘」「働きやすい職場環境作り」「デジタル化による業務の合理化」「国内外での投資活動」「海外人材の育成」「管理体制の強化」を経営の重点目標に掲げております。

現在、鉄鋼、非鉄金属、電子事業、ライフ営業、機械・工具、営業開発の各事業が、国内及び海外で営業を展開する中、国内においては、地域ニーズへの的確な対応と全社的な情報共有によるサービスの迅速化をベースに、一層の販路拡大と新商品の拡販に努めております。加えて、国内事業を効率的に推進するために、支店の新設及び統廃合、設備の更新を積極的に展開してまいります。

また、海外においては、アジア地域の販売体制強化戦略として2004年4月に香港に現地法人を設立したのを皮切りに、現在までにタイに2社、中国本土に3社、ベトナムに1社、韓国に1社、インドネシアに1社、インドに1社、台湾に1社、カンボジアに1社、シンガポールに1社の現地法人を設立、加えて取引先との合併事業としてタイに3社、中国に1社、インドに1社の設立及び投資を行っております。

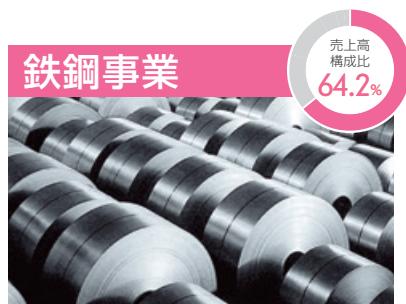
今後もグループ一丸となって、販路のグローバル化を推進していく所存です。



(注) 第100期の予想数値は、2022年5月9日発表の2022年3月期決算短信に基づき作成したものです。実際の実績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

Segment Review

事業別セグメント



売上高 **1,515**億円 (前年同期比 -)

■事業概況

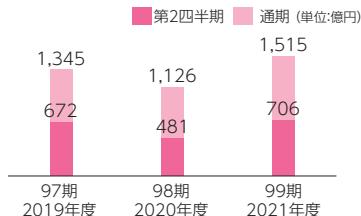
当事業においては、表面処理鋼板、冷延鋼板、酸洗鋼板、棒鋼、条鋼などの普通鋼、構造用炭素鋼、構造用合金鋼、工具鋼などの特殊鋼及び建築用の資材、機材を主に自動車、建産機、建築、電機、造船、金型などの業界に販売しております。

また、各事業所は倉庫を所有し、切断などの一次加工も行っております。福島、栃木、神奈川にはコイルセンターを有しております。

■当期の概況

鋼材価格の上昇による影響に加え、主要取引業界である商用車業界や国内の建産機業界向けの販売が堅調に推移したこと等により、売上高は1,515億7千万円(前年同期比+%)、営業利益は33億9千1百万円(前年同期比193.4%増)となりました。

■売上高の推移



売上高 **358**億円 (前年同期比 -)

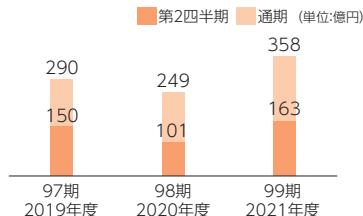
■事業概況

当事業においては、アルミニウム、銅、亜鉛、鉛、メタルシリコンなどの素材及び加工品を、主に自動車、機械器具製造、タイヤ製造などの業界に販売しております。また、海外で調達した地金、自動車部品などを国内外に販売しております。

■当期の概況

地金相場の上昇による影響に加え、主要取引業界である商用車業界向けの販売が堅調に推移したこと等により、売上高は358億5千9百万円(前年同期比+%)、営業利益は4億7千2百万円(前年同期比283.2%増)となりました。

■売上高の推移



売上高 **291**億円 (前年同期比 -)

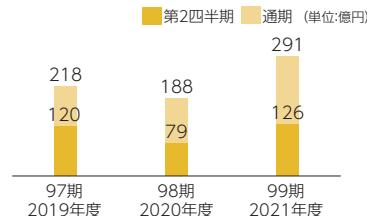
■事業概況

当事業においては、電子機器、電気製品及び車載機器に使用されるプリント配線基板用の積層板などの電子材料を、主に電子部品業界に販売しております。

■当期の概況

主力のプリント配線基板用積層板の販売に加えて、液晶、半導体向け部材の輸出及び部品の販売が堅調に推移したこと等により、売上高は291億6千3百万円(前年同期比+%)、営業利益は11億3千7百万円(前年同期比80.2%増)となりました。

■売上高の推移



(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しておりますので、2022年3月期に係る売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。よって、売上高の対前年同期増減率は記載しておりません。

ライフ営業事業

売上高
構成比
4.5%



売上高 **106億**円 (前年同期比 -)

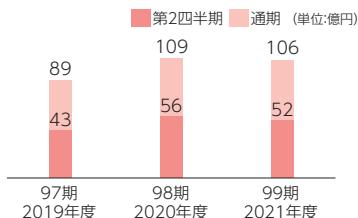
■ 事業概況

当事業においては、金属洋食器、陶磁器、インテリア用品、貴金属などの製品を、主に百貨店、量販店、ホテルなどの業界に販売しております。加えて、直営アウトレット店の多店舗化をはじめとした小売事業も推進しております。また、輸入カラオケマイクなどの商品をテレビショッピングや通信販売にて販売しております。

■ 当期の概況

外出自粛による在宅での消費需要が高まる中、自社商品販売を推進しましたが、売上高は106億9千2百万円(前年同期比-%)、営業利益は8億5千1百万円(前年同期比18.7%減)となりました。

■ 売上高の推移



機械・工具事業

売上高
構成比
2.3%



売上高 **54億**円 (前年同期比 -)

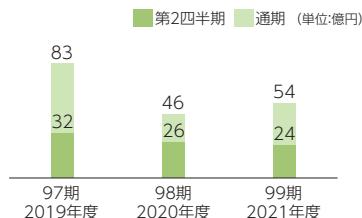
■ 事業概況

当事業においては、旋盤、フライス盤、研削盤、マシニングセンタなどの工作機械及び工場生産ライン一式、ならびに切削工具、作業工具などを自動車業界を主力に販売しております。

■ 当期の概況

国内の拠点網を活用しながら、取引先への販売活動を積極的に推進したこと等により、売上高は54億5千5百万円(前年同期比-%)、営業損失は8千4百万円(前年同期は営業損失1億6千6百万円)となりました。

■ 売上高の推移



営業開発事業

売上高
構成比
1.5%



売上高 **34億**円 (前年同期比 -)

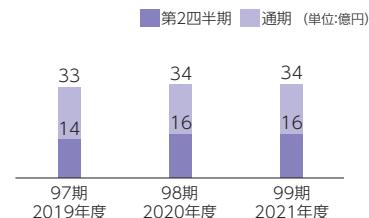
■ 事業概況

当事業においては、次世代を視野に入れた商品の開発を行いながら、独自の技術を持つメーカーのクレーン、LED照明、空調やコンプレッサーなどの環境配慮型製品の販売しております。また、グループ企業が製造した加温機の設置工事も請け負っております。

■ 当期の概況

主力の商材及び工事案件を適宜受注しましたが、売上高は34億2千万円(前年同期比-%)、営業損失は3千5百万円(前年同期は営業利益3百万円)となりました。

■ 売上高の推移



阪神特殊鋼を子会社化 国内展開

2022年1月31日、当社は阪神特殊鋼株式会社(大阪府大阪市西淀川区)の全株式を取得し、同日付けで完全子会社化いたしました。

阪神特殊鋼は1960年設立で農業建機業界向けをメインに特殊鋼を販売しています。拠点は本社と宇都宮(宇都宮市)の2か所。従業員数は20名。

当社グループは、阪神特殊鋼と相互拠点のネットワークを有効活用して販売の効率化を図り、更なる事業領域の拡大につなげてまいります。



阪神特殊鋼株式会社の概要

本 社 所 在 地：大阪府大阪市西淀川区姫島6丁目1番1号
 代表取締役社長：中山 正義
 事 業 内 容：特殊鋼の販売

資本金：30百万円
 決算期：3月末

コーポレートサイトをリニューアル

2022年3月1日に当社のコーポレートサイトを全面リニューアルいたしました。

リニューアルの主なポイント

■ デザイン・構成を一新

当社グループの経営理念である「流通・サービスを通じて広く社会に貢献する」をキーワードに、コーポレートカラーの青を基調とし、デザイン・構成を一新。

■ 新コンテンツページを追加

早わかりコンテンツ「佐藤商事とは」、当社商標のシンボルマーク「マーシャンの」紹介ページを新設。視覚的にわかりやすいコンテンツに。

■ IRページの充実

投資家が知りたい経営指標や株式情報の内容のさらなる充実。該当情報にアクセスしやすいページ構成。

■ 新卒リクルートサイトを新規作成

当社を身近に感じながら理解を深めてもらえるよう、若手社員の写真とインタビューを掲載。

■ 最適な表示での閲覧が可能

全ページをレスポンシブ対応*に。スマートフォンでも快適に閲覧が可能。

*見ている画面幅に合わせて自動的にレイアウトを変更する仕組み

今後も、さらなるコンテンツの充実を図り、より良いコーポレートサイトを目指してまいります。ぜひご覧ください。



■ 佐藤商事コーポレートサイト <https://www.satoshoji.co.jp/>

Topics

トピックス

当社オリジナル商品のご案内

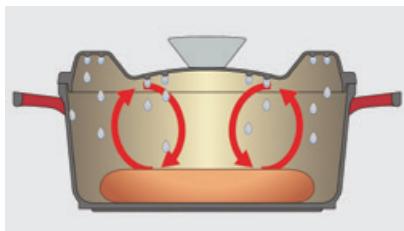
Design and Style



ウォーターレスキャセロール 20cm ～無水調理ができる鍋～

少量の水分で調理が可能
素材の水分を生かし、美味しく調理ができます。

5種類の
レシピ付き



旨みを閉じ込める

蒸気を逃がしにくいので、余分な水を加えず、素材の水分で美味しく調理ができます。



ふた裏側の突起

蒸気がふた裏側の突起に集まって水滴となり、食材全体に降り注ぎます。



オーブン対応

ふたごとオーブン調理可能。その間にもう1品作れて効率アップ！料理の幅も広がります。

※電子レンジでは使用しないでください。



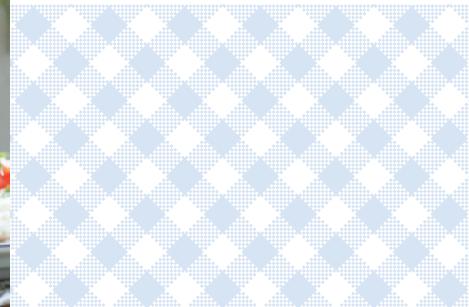
1台7役

無水調理・茹でる・煮る・蒸す・
炊く・炒める(下準備)・オーブン

ウォーターレスキャセロール 20cm

サイズ: 約W276×D214×H125mm

満水容量: 2.6L 重量: 約1,160g 価格: 8,800円(税込)



電気ケトル 1.2L

安全に短時間でお湯を沸かすことができる電気ケトルは、忙しい朝の味方。レトロなデザインがキッチンやテーブルを可愛らしく飾ってくれます。



簡単操作

スイッチを押すとランプが点灯し加熱を開始します。沸騰したら自動でスイッチが切れるので安心。スイッチひとつで素早くお湯が沸かせます。空だきをしても、本体の安全装置が動き、ヒーター部への通電が自動的に切れる安全設計。



湯切れのよい注ぎ口

湯量を調整しやすい注ぎ口。湯切れがよいので、コーヒーのハンドドリップにも最適。注いだ後もお湯がたれにくいです。



給水・お手入れがしやすい

ケトル本体からふたを完全に取り外すことができるので、給水がスムーズです。また、広口設計なので、使用後のケトル内部のお手入れも簡単です。

電気ケトル 1.2L

サイズ:約W212×D161×H223 mm(電源プレート含む) 容量:1.2L 重量:約800 g(電源プレート含む) 消費電力:1,200W 価格:8,800円(税込)



Consolidated Financial Statements

連結財務諸表(要旨)

▶ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 2021年3月31日現在	当連結会計年度 2022年3月31日現在
資産の部		
流動資産	82,711	117,853
固定資産	33,204	34,237
有形固定資産	16,828	16,254
無形固定資産	180	162
投資その他の資産	16,196	17,820
資産合計	115,916	152,090
負債の部		
流動負債	56,511	88,095
固定負債	11,769	13,061
負債合計	68,281	101,157
純資産の部		
株主資本	41,159	43,516
資本金	1,321	1,321
資本剰余金	867	862
利益剰余金	39,234	42,072
自己株式	△ 262	△ 740
その他の包括利益累計額	6,129	7,034
その他有価証券評価差額金	5,782	6,325
繰延ヘッジ損益	7	8
為替換算調整勘定	335	700
退職給付に係る調整累計額	4	—
新株予約権	338	374
非支配株主持分	7	8
純資産合計	47,635	50,933
負債純資産合計	115,916	152,090

▶ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 2020年4月1日～ 2021年3月31日	当連結会計年度 2021年4月1日～ 2022年3月31日
売上高	175,464	236,162
売上原価	161,092	216,456
売上総利益	14,372	19,705
販売費及び一般管理費	11,576	13,971
営業利益	2,796	5,734
営業外収益	787	813
営業外費用	234	284
経常利益	3,348	6,263
特別利益	945	20
特別損失	258	335
税金等調整前当期純利益	4,036	5,948
法人税、住民税及び事業税	1,257	2,085
法人税等調整額	△ 7	△ 154
非支配株主に帰属する当期純利益	0	1
親会社株主に帰属する当期純利益	2,785	4,016

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 2020年4月1日～ 2021年3月31日	当連結会計年度 2021年4月1日～ 2022年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,503	△ 12,554
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 685	△ 1,510
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,349	14,418
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 16	63
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	450	416
現金及び現金同等物の期首残高	1,906	2,367
現金及び現金同等物の期末残高	2,367	2,875

Non-Consolidated Financial Statements

個別財務諸表(要旨)

▶ 個別貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	前事業年度 2021年3月31日現在	当事業年度 2022年3月31日現在
資産の部		
流動資産	72,137	103,461
固定資産	32,189	33,700
有形固定資産	14,492	13,988
無形固定資産	80	76
投資その他の資産	17,616	19,635
資産合計	104,326	137,161
負債の部		
流動負債	52,205	81,056
固定負債	10,742	12,089
負債合計	62,947	93,146
純資産の部		
株主資本	35,226	37,267
資本金	1,321	1,321
資本剰余金	789	789
利益剰余金	33,377	35,896
自己株式	△ 262	△ 740
評価・換算差額等	5,814	6,373
その他有価証券評価差額金	5,807	6,371
繰延ヘッジ損益	6	1
新株予約権	338	374
純資産合計	41,379	44,015
負債純資産合計	104,326	137,161

▶ 個別損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前事業年度 2020年4月1日～ 2021年3月31日	当事業年度 2021年4月1日～ 2022年3月31日
売上高	154,798	208,191
売上原価	143,046	192,140
売上総利益	11,746	16,051
販売費及び一般管理費	9,703	11,724
営業利益	2,043	4,326
営業外収益	1,048	1,010
営業外費用	273	343
経常利益	2,818	4,993
特別利益	807	135
特別損失	160	35
税引前当期純利益	3,464	5,093
法人税、住民税及び事業税	1,024	1,704
法人税等調整額	△ 22	△ 151
当期純利益	2,462	3,540

Corporate Data & Stock Information

会社概要・株式の状況 (2022年3月31日現在)

▶ 会社概要

商号	佐藤商事株式会社
本社	東京都千代田区丸の内一丁目8番1号 丸の内トラストタワーN館16階 TEL:03-5218-5311
設立	1949年(昭和24年)2月5日
資本金	13億2,136万8,450円
従業員数	連結1,012名 単体645名
ホームページアドレス	https://www.satoshoji.co.jp/

▶ 役員 (2022年6月17日現在)

取締役

代表取締役会長	村田 和 夫
代表取締役社長	野澤 哲 夫
取締役	田浦 義 明
取締役	浦野 正 美
取締役	須賀 和 徳
取締役	伊藤 明 彦 (新任)
取締役(社外)	斎藤 脩
取締役(社外)	小谷 健
取締役(社外)	大栗 育 夫
取締役(社外) 常勤監査等委員	森 隆 浩 (新任)
取締役(社外) 監査等委員	原 嘉 男 (新任)
取締役(社外) 監査等委員	赤石 幹 雄 (新任)

執行役員

代表取締役会長	村田 和 夫 *
代表取締役社長	野澤 哲 夫 *
専務執行役員	田浦 義 明 *
常務執行役員	村上 毅 一郎
常務執行役員	浦野 正 美 *
常務執行役員	藤倉 諭
常務執行役員	小野 誠 一
上席執行役員	秋元 雅 行
上席執行役員	内田 秋 夫
上席執行役員	須賀 和 徳 *
上席執行役員	伊藤 明 彦 *
上席執行役員	奈須野 匡
上席執行役員	田中 久 義
執行役員	西山 正 弘
執行役員	長田 博 夫
執行役員	杉井 淳
執行役員	村田 智
執行役員	柳田 隆 治 (新任)

*当社は取締役 斎藤脩氏、小谷健氏、大栗育夫氏、森隆浩氏、原嘉男氏及び赤石幹雄氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

*は、取締役を兼任する者であります。

▶ 株式の状況

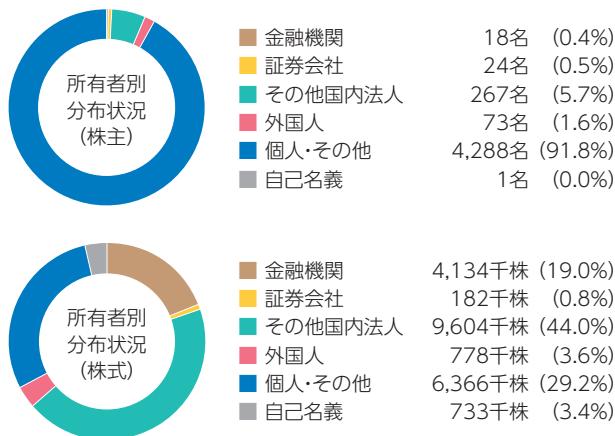
発行可能株式総数	87,000,000株
発行済株式の総数	21,799,050株
株主数	4,671名

▶ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,958	9.3
三神興業株式会社	1,590	7.5
いすゞ自動車株式会社	1,451	6.9
NOK株式会社	619	2.9
株式会社りそな銀行	554	2.6
佐藤商事取引先持株会	532	2.5
三原不動産株式会社	530	2.5
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	520	2.5
日本シイエムケイ株式会社	512	2.4
山陽特殊製鋼株式会社	499	2.4

当社は自己株式733千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。持株比率は自己株式(733千株)を控除して算出しております。

▶ 株式分布状況



Network Information

国内・海外ネットワーク

国内

▶ 事業所

- ・苫小牧支店
- ・札幌ライフ支店
- ・岩手支店
- ・秋田支店
- ・大館支店
- ・鶴岡支店
- ・山形支店
- ・福島支店
- ・郡山支店
- ・鉄鋼部第2課(茨城)
- ・栃木支店
- ・太田支店
- ・埼玉支店
- ・神奈川支店
- ・神奈川コイルセンター
- ・新潟支店
- ・長岡支店
- ・新潟流通センター
- ・北越支店
- ・富山支店
- ・長野支店
- ・浜松支店
- ・名古屋支店
- ・名古屋ライフ支店
- ・名古屋鋼材センター
- ・滋賀支店
- ・大阪支店
- ・大阪ライフ支店
- ・関西鋼材センター
- ・兵庫支店
- ・岡山支店
- ・岡山鋼材センター
- ・福山支店
- ・広島支店
- ・広島ライフ支店
- ・四国支店
- ・北九州支店
- ・九州支店
- ・福岡ライフ支店
- ・熊本支店

▶ 国内連結子会社

- ・エヌケーテック株式会社
- ・日本洋食器株式会社
- ・メタルアクト株式会社
- ・佐藤ケミグラス株式会社
- ・大東鋼業株式会社
- ・富士自動車興業株式会社

▶ 国内関連会社

- ・関根鋼材株式会社
- ・佐藤ゼネテック株式会社
- ・湘南加工株式会社
- ・阪神特殊鋼株式会社

海外

▶ 現地販売会社

- ・香港佐藤商事有限公司(電子部材販売) [\[連結子会社\]](#)
- ・上海佐商貿易有限公司(鉄鋼・非鉄金属・電子部材販売) [\[連結子会社\]](#)
- ・上海佐商貿易有限公司 常州分公司(鉄鋼・非鉄金属/鋼材倉庫)
- ・SATO-SHOJI(THAILAND)CO.,LTD.(鉄鋼・電子部材販売) [\[連結子会社\]](#)
- ・SATO-SHOJI(VIETNAM)CO.,LTD.(非鉄金属・鉄鋼販売) [\[連結子会社\]](#)
- ・SATO-SHOJI(VIETNAM)CO.,LTD. HANOI BRANCH(鉄鋼・非鉄金属販売)
- ・SATO SHOJI ASIA PACIFIC PTE. LTD.(電子部材販売) [\[連結子会社\]](#)
- ・広州佐商貿易有限公司(電子部材・鉄鋼販売) [\[連結子会社\]](#)
- ・佐藤塑料玻璃(蘇州)有限公司(合成樹脂加工販売)
- ・韓国佐藤商事株式会社(電子部材・鉄鋼販売)
- ・PS DEVICE & MATERIAL INC.(電子部材販売)
- ・SATO TECHNO SERVICE(THAILAND)CO.,LTD.(工作機械の販売・機械修理サービス)
- ・SATO-SHOJI(CAMBODIA)CO.,LTD.(鉄鋼・非鉄金属販売)
- ・PT.SATO-SHOJI INDONESIA(鉄鋼・非鉄金属販売)
- ・SATO-SHOJI INDIA PRIVATE LIMITED(鉄鋼・非鉄金属販売)

▶ 合併製造会社

- ・YUASA SATO(THAILAND)CO.,LTD.(クランクシャフト製造) [\[持分法適用会社\]](#)
- ・曾我部(蘇州)減速機製造有限公司(減速機製造)
- ・UCHIDA-SATO TECH(THAILAND) CO.,LTD.(鍛造用ダイホルダー製造)
- ・THAI KJK CO.,LTD.(自動車部品製造)
- ・POLYHOSE SATO SHOJI METAL WORKS PRIVATE LIMITED(鋼材加工・製缶加工業)

▶ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人/ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	6月に開催します。	株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日	連絡先	東京都府中市日鋼町1番地1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
単元株式数	100株	郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL https://www.satoshoji.co.jp/ir/index3.html		

株式に関する手続き

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

佐藤商事株式会社

〒100-8285 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号
丸の内トラストタワーN館16階
TEL:03-5218-5311 FAX:03-3286-1311



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。